

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|--------|--------------|
| ○事業所名 | 稲沢市児童発達支援センター | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 12月 10日 | ～ | 令和7年 12月 26日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | (回答者数) | 11 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 12月 10日 | ～ | 令和7年 12月 26日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | (回答者数) | 5 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 令和7年 12月 10日 | ～ | 令和7年 12月 26日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | (回答者数) | 10 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 2月 28日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 公認心理師1名、臨床心理士2名、保育士2名で対応させていただいています。専門性を活かして対応が出来る。 | ・利用者様に合わせて専門職が訪問することにより、きめ細やかな支援を継続して行うことができていると思う。 | ・常勤だけではなく非常勤も同じように訪問支援を行っているため、しっかりアセスメントを行い、特性に合った支援を継続していきたいと思っている。 |
| 2 | 就学前と就学後で出来る限り同じ訪問支援員で対応することができている。 | ・就学前と就学後で利用者様にはライフステージに繋がるように環境が違って同じ支援を継続していけるようにしている。 | ライフステージに繋がるよう支援してきた報告書等も見て頂くことで支援の充実を図っていきたい。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|-------------------|---|
| 1 | 非常勤職員が週1回や月1回の勤務だったりするため、同じ訪問支援員が行くことが難しい。 | ・職員の人数を確保したい。 | 継続して支援に行くことができるよう訪問支援員の増員や現在勤務する職員が訪問した際の技術や支援内容などの質の向上ができるよう学ぶ機会を定期的に作るようにしたい。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |